

令和3年8月30日

(宛先)

奈良市議会議長

住 所 奈良市藤原町1028番地の27

議員氏名 林 政行

令和3年度（4月～7月分）政務活動費収支報告について

奈良市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、別紙のとおり

令和3年度（4月～7月分）政務活動費収支報告書等を提出します。



令和3年度 政務活動費収支報告書

奈良県奈良市藤原町1028番地の27

林 政行

1 収 入

政 務 活 動 費 280,000 円

2 支 出

(単位:円)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|---------------|---------|----------------|
| 調 査 研 究 費 | | |
| 研 修 費 | | |
| 広 報 費 | 954,932 | 活動報告2021年9号配布代 |
| 広 聴 費 | | |
| 要 請・陳 情 活 動 費 | | |
| 会 議 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 人 件 費 | | |
| 事 務 所 費 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合 計 | 954,932 | |

3 残 額 0 円

項目別一覧表(項目別元帳)

| | |
|----|-----|
| 項目 | 広報費 |
|----|-----|

(単位:円)

| 整理番号 | 支出年月日 | 支出金額 | 支出証拠書類の額面金額 | 摘要 |
|------|----------|---------|-------------|----------------|
| 1 | 令和3年5月7日 | 954,932 | 954,932 | 活動報告2021年9号配布代 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 954,932 | 954,932 | |

領収書等貼付用紙

| 項 目 | 広報費 |
|---------------|--|
| 整理番号 | 1 |
| 領収書等の証拠書類の貼付欄 | <p style="text-align: center;">別紙</p> <p style="text-align: right;">振込 令和3年5月7日 金額 954,932円</p> |
| 事業名、用途及び内容等 | <p>まさゆき通信（活動報告2021年9号配布） サイズ：B4輪転 手配り：16,200枚 新聞折込（4紙+日経）：120,000枚 ポスティング：43,500枚 ポスティング（オノプランニングオフィス）：10,300枚</p> |
| 調査の概要 | <p>1 別紙</p> |

請求明細書

発行日 2021/4/30

林 政行 様 (政治活動用)

Ono Printing Office

オノ・プランニング・オフィス株式会社
〒569-1121 大阪府高槻市東町1-1-18-3A
TEL.072-686-4422 FAX.072-686-4444

担当者

発行者

| 項目 | 品名 | 単価 | 数量 | 金額 |
|---|-----------------------|---------|---------|----------|
| 9号ピラ (B4) 輪転 | ディレクション料 | ¥20,000 | 0.5 | ¥10,000 |
| W273×H382mm (B4:256×368mm) | デザイン料 | ¥40,000 | 0.5 | ¥20,000 |
| ※コピーリライト料としてデザイン料の25%~50%の範囲で別途加算されることがあります | 版下作製料 | ¥10,000 | 1 | ¥10,000 |
| ■内訳 新聞折込120,000枚 | 印刷代 B4・4/4・MC67.5K・折無 | ¥1.7 | 190,000 | ¥323,000 |
| ポストイング10,300枚 (OPO) | 2折料 | ¥0.9 | 43,500 | ¥39,150 |
| ポストイング43,500枚 (林様側) | 新聞折込料 (4紙+日経) | ¥3.1 | 120,000 | ¥372,000 |
| 他16,200枚 | ポストイング (基本上記以外) | ¥3.1 | 10,300 | ¥31,930 |
| ※送料は全国一律 (北海道・沖縄・離島除く) 1ヶ所につき右通り | 送料 (30,000枚まで) | ¥9,000 | 3 | ¥27,000 |
| | // (30,000枚を超える枚数) | ¥0.3 | 113,800 | ¥34,140 |
| ※通常はバレット納品です | ダンボール納品 (1箱@2,000部) | ¥100 | 9 | ¥900 |
| 小計 | | | | ¥868,120 |

| | |
|-----------|----------|
| 税前合計 | ¥868,120 |
| 消費税 (10%) | ¥86,812 |
| 合計金額 | ¥954,932 |

お振込

引出口座・振込先口座指定 > 金額入力 > 確認 > 完了

[この画面のヘルプ](#)

お振込を受け付けました。

なお、受取人名相違などにより、お振込先金融機関での入金手続きができない場合は、お客さまの口座にお振込金額（振込手数料は含みません）をお戻しいたしますので、ご了承ください。

■受付番号

| | |
|------|---------------|
| 受付番号 | 2210507016508 |
|------|---------------|

※お問い合わせの際には受付番号が必要となりますので番号をお控えください。

■お引出口座情報

| | |
|------|----------|
| 店名 | 奈良支店 |
| 取引種類 | 普通 |
| 口座番号 | |
| 依頼人名 | ハヤシ マサユキ |

■お振込先口座情報

| | |
|---------|--------------------|
| 振込先金融機関 | 三菱UFJ銀行 |
| 店名 | 高槻支店 |
| 取引種類 | 普通 |
| 口座番号 | |
| 受取人名 | オノ プランニング オフィス (カ) |
| お振込金額 | 954,932 円 |
| 手数料 | 0 円 |
| お引出金額 | 954,932 円 |

※翌営業日扱いのお振込の場合も、お引き落としは当日となります。

■他にご利用はございますか？

[新しいお振込をする](#)

[残高照会をする](#)

[入出金明細照会をする](#)

[お取引結果を確認する](#)

※インターネットバンキングのご利用を終了する場合は、「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

ログアウト

【新着】林 政行さまへのメッセージが届いております。



メインメニュー

メインメニュートップ

- お振込
- お振込先口座
- お振込金額
- お振込手数料
- お振込履歴
- お振込先口座照会
- お振込先口座登録
- お振込先口座変更
- お振込先口座削除
- お振込先口座検索
- お振込先口座一覧
- お振込先口座登録
- お振込先口座変更
- お振込先口座削除
- お振込先口座検索
- お振込先口座一覧

積立・定期預金

外貨預金

グローバル口座

投資信託

ローン

決済

宝くじ

セキュリティ

お振込履歴



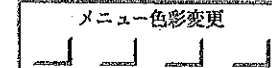
店舗検索

ヘルプ

規定

メニュー表示位置変更

左へ表示



奈良市議会議員 林政行 38歳 はやしまさゆき

身体が動かないからこそ気付く事がある。



発行元

林政行事務所 〒630-0121 奈良市南大宮10-20-27
奈良市議会事務所 〒630-8144 奈良市大宮西1-16-23
TEL 074-351-2007 FAX 074-351-5707 info@hayashimasayuki.com
http://hayashimasayuki.com/ @hayashimasayuki621 @hayashimasayuki



最新情報
発信中!

ご挨拶

今なお続く新型コロナウイルス感染拡大につきましては、市民のみならずにおかれましては心労いかにばかりとお察し申し上げます。

今回、大阪コロナ重症センターの最前線でお勤めになった看護師の方にメッセージをいただきましたので、右記にてご紹介させていただきます。

会派所属ではない無所属議員は、定例会の質問時間が通年1時間です。3月定例会でほとんどの時間を費やすこととなりました。

今回は、任期最後の年で私が最も行いたかった質問内容を載せています。私の考え方の一端をご理解いただけますと、ありがたく思います。

看護師として働いていて、1番辛い瞬間は、担当の患者さんが亡くなる時です。通常であれば、亡くなる前に家族や大切な方たちに、直接お会いし見守られながら看取りを行います。

しかし、コロナに感染している患者さんの場合はそれが叶わず、ガラスを隔てて、テレビ電話越しのお別れとなります。

個々で感染対策を十分に講じることで、家族や友人も守ることに繋がります。自分が感染源になることは、自分自身も周りの人も辛いことです。

個人の自覚と責任を持って感染対策を行い、これ以上悲しいお別れが続かないよう切に願います。

インクルーシブ公園の実現へ

一人ひとりがそれぞれの能力や個性を活かし、自分らしくいきいきと暮らせる共生社会・インクルーシブ社会において、公園は重要な役割を果たしていくものになります。

それぞれの特性によって排除されるのではなく、誰もが分け隔てなく生活できる社会

しかし、奈良市の公共的な公園は「誰一人取り残さない、共生社会・インクルーシブ社会」に沿った公園になっているのかというと、決してそうではなく、市が設置したほとんどの公園にはバリアが存在しています。遊具ひとつをとっても、ハンディキャップのある子にも配慮した遊具になっていません。

身体的なハンディキャップがあったり、人との関わりが苦手などの理由で、子ども全体の割以上が通常の公園で十分に遊べていないとされています。このように、これまでの公園は必ずしも多様なニーズに応えられていません。

そこで、「インクルーシブ公園」を提案しています。インクルーシブ公園とは、年齢や性別、国籍、ハンディキャップの有無を気にすることなく、「みんなが楽しめる遊び場」のことで、「アクセスのしやすさ」や「利用しやすさ」だけでなく、すべての子どもが、それぞれの楽しみ方で、同じ遊具と一緒に遊ぶことが大切な要素となっています。



インクルーシブ公園を導入した泉南りんくう公園

インクルーシブ公園の実現は「インクルーシブ公園の実現に関する要望書」が奈良市に約50件提出されていることから、多くの市民が望んでいるものがあります。

要望書に署名された方からは、障害のある子どもたちが、公共の公園を利用することができないという切実な声もいただいています。

私がインクルーシブ公園の実現にこだわるのは、

どんな理由があるにせよ、子どもたちには笑顔で一日一日を過ごしてほしいとの強い想いがあるからです。

そこで、子どもセンターの遊び場の整備が予算計上されていることに着目し、子どもセンターの遊び場が、すべての人を温かく迎え入れ、認め合い、一人ひとりが自分らしくいられる公の場所となるような「インクルーシブな公園」に設計がなされているのか市長に問いました。

市長

今後のまちづくりにおいては、様々な特性を持った方とともに共生社会を目指していくことが、大きな柱になると認識している。これから新たに開設をしていく遊び場や公園機能は、是非ともインクルーシブな要素を公園の策定の中に取り込んでいけたらと考えている。

インクルーシブ公園の実現へ、大きな一歩となる答弁をいただきました。市長および子ども政策課、公園緑地課の理解に感謝しています。

しかし現状の予算計上で、誰もが楽しく気兼ねなく過ごせる遊び場を十分に整備できるのか、懸念するところもあります。市として創意工夫を凝らし、早急に策を講じていただくこと、整備後に「実現できていなかった」とならないよう、設計の段階から入念にチェックして実施することを要望しています。

奈良市公園マネジメント基本計画について

子どもセンターの遊び場だけがインクルーシブな公園になればいいのではなく、みなさまの身近な公園もインクルーシブな公園へと変わっていくべきです。

そこで今年度、奈良市公園マネジメント基本計画を策定する予定であることから、インクルーシブな公園

をその基本計画の中にしっかりと明記する考えがあるのか、市長に伺いました。

市長 奈良市の公園マネジメント基本計画の中では住民や時代のニーズに応じて、公園のあり方を根本的に描く。

公園の機能というものは、子どもだけではなく、さまざまな年代や特性をお持ちの方が等しく、ともに活用できることが理想の形であると思っている。

ハード面・ソフト面、両方合わせて、しっかりと

深めていきたいと思っているが、その中には、インクルーシブな公園を目指すという切り口も、この議論のなかで、あわせて検討させていただきたいと考えている。

一歩前進の前進的な答弁をいただきました。

議論の末、インクルーシブな公園も踏まえた全体的な計画を策定され、すべての子どもが健やかに育つための環境整備をしっかりとさせていただき、今後も実現に向けて動いてまいります。

ポッチャを通した心のバリアフリーの実現に向けて

「心のバリアフリー」とは、私たち一人ひとりがバリアを感じている人の身になって考え、行動を起こすことです。

私は心のバリアフリーを、紙面や授業などを行うことに否定はしませんが、やはり自然な形で障害のある人となりが交わり、その中で自然とお互いの理解を深めていくことが大切だと思っています。

インクルーシブ公園を提案するの、パブリックな環境の中で、障害のある子どもない子ども自然と交わりお互いに交流や理解が深まってほしいとの強い思いを持って、いるからです。

そこで、障害のある子どもない子どもお互いに自然とふれあい、相互の交流や理解が深まる有効な手段として評価されている、ポッチャを議会で取り上げました。

ヨーロッパ発祥のポッチャは、障害の有無や年齢、性別などに関わらず、同一のルールで競技を楽しめるスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。

奈良市の学校には、様々な種類の障害を持つ児童生徒が在籍しています。私は、ポッチャを積極的に授業に取り入れ、障害の有無を問わず児童生徒間で交流することで、お互いの理解が自然と深まり、それが結果的に児童生徒はもちろん、学校にとっても良い環境が整い、奈良市で成長する子どもたちが心のバリアフリーを醸成することができるかと確信しています。

そこで各学校にポッチャを取り入れ、より良い「交流及び共同学習」の実現に繋げるべきと教育部長に問い、前向きな答弁をいただいています。

私は、学校教育で児童生徒がしっかりと心のバリアフリーを自然と培い、大人になってほしい強い気持ちがあります。そして、心のバリアフリーを自然と育まれた児童生徒がお手本となり、差別をする大人の意識や行動を変え、児童生徒から誰もが安心して暮らせる



参加した生徒の声

「障害をもっている人たちとも、コミュニケーションをとることができました」

「自分たちが障害者スポーツを知ることで、もっと体が不自由な人の気持ちが分かる人が増えると思います」

奈良市を築き上げてほしい考えもあります。

心のバリアフリーの実現に最善と考えるポッチャの提案は、奈良市に対しても似た趣旨の質問を行い、市長から前向きな答弁をいただいています。

心のバリアフリーは簡単に実現できるものではなく、長い時間のかかるものであります。今後も実現のため、一歩一歩前に進めてまいります。

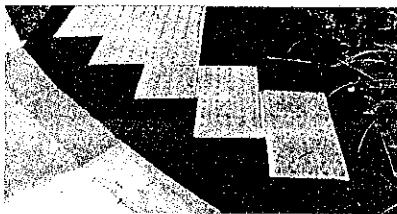
歩車道の段差解消の実現へ

歩車道の段差を解消することは、自転車、車椅子、ベビーカーなど、さまざまな利用者の利便性が向上する一方で、視覚障害者の方にとっては、歩道と車道の境界の判別がしづらくなり危険度は上がります。

誤解されがちですが、視覚障害者の方々は段差が必要なのではなく、歩道と車道の境界の判別が重要であって、その判別ができるのであれば、段差は重要ではないのです。

私は車椅子使用者の立場としての考えだけでなく、公平性を保つため、神戸市バリアフリー整備マニュアルを一例に取り上げてきました。

例えば、神戸市は切り下げ部の車道面と縁石前面の段差は0cmとし、車道面と歩道面の段差は2cmとしています。これは神戸市や一部の市町村で決めたことではなく、「人にやさしい道路環境に関する研究」として、兵庫県福祉まちづくり研究所が、視覚障害者、立位高齢者、車椅子使用者を対象として、官能試験と計測用車椅子による物理試験により14タイプ



神戸市の歩道と車道の間には段差がありません。

の縁石の歩きやすさについて調査した上で、総合評価の高い段差構造を見極めた結果であり、その上で神戸市は歩車道の段差解消を実現しています。

このように根拠がしっかりとしているものを議会で提示し、視覚障害者の方にとっても問題がないという確証から、歩車道の段差解消を訴えています。

奈良市が歩車道の段差解消に取り組んでいく上で、同じように根拠のある結論を提示していただきたいと思っています。もし、その体制が整わないのであれば、神戸市を参考に、歩車道の段差解消についての奈良市の方針を出すべく市長に問い、市長および福祉政策課、土木管理課の理解もあり、歩車道の段差解消の実現に向け、あと一歩のところまでできています。

今後も実現に向け、歩車道の段差ゼロに向けた取組を進めてまいります。

令和3年1月～3月 議会での質問項目

- 観光文教委員会(2月9日)
 - 一糸高等学校を受検する障害や難病等を持つ受験生に対する合理的配慮について
 - (仮称)奈良市立一糸高等学校附属中学校を希望する障害や難病を持つ児童の入学適性検査における合理的配慮について
 - バンビホームの昼食(お弁当)提供について

- 奈良市の障害者の生涯学習について
- 障害を持つ子どもたちに対するの公立図書館の取組などについて
- 教育委員会と学校の関係性について
- 令和3年3月定例会(3月9日)
 - 共生社会・インクルーシブ社会について
 - インクルーシブ公園について
 - 心のバリアフリーについて(ポッチャ)
 - 歩車道の段差解消について

- 予算決算委員会 観光文教分科会(3月15日)
 - 高校生観光特派員事業について
 - マイクロツーリズム推進について
 - プレミアム付商品券について
 - 障害者雇用推進事業について
 - 中小企業資金融資争奪について
 - 青少年野外活動センターについて
 - 読書バリアフリーについて
 - 電子図書館について
 - インクルーシブ教育推進研修について

- (仮称)奈良市立一糸高等学校附属中学校について

- 予算決算委員会 総括質疑(3月19日)
 - パラスポーツ(障害者スポーツ)について

詳しい内容はこちらからご確認いただけます

林政行公式webサイト:hoyoshimosayuki.org

